

～ 豊かで美しい里海・瀬戸内海と

やさしい里山に囲まれた高松 ～



平成28年4月24日（日）開催

高松市議会

議会報告会プロジェクトチームメンバー（14人）

| 議会運営委員会     |           |         | 備 考         |
|-------------|-----------|---------|-------------|
| 1           | 委員長       | 森 川 輝 男 | リーダー        |
| 2           | 副委員長      | 大 山 高 子 | サブリーダー（幹事長） |
| 総務消防常任委員会   |           |         |             |
| 3           | 委員長       | 井 上 孝 志 |             |
| 4           | 副委員長      | 中 村 伸 一 |             |
| 教育民生常任委員会   |           |         |             |
| 5           | 委員長       | 川 崎 政 信 |             |
| 6           | 副委員長      | 藤 原 正 雄 |             |
| 経済環境常任委員会   |           |         |             |
| 7           | 委員長       | 白 石 義 人 |             |
| 8           | 副委員長      | 大 西 智   | 幹事長         |
| 建設水道常任委員会   |           |         |             |
| 9           | 委員長       | 十 川 信 孝 |             |
| 10          | 副委員長      | 辻 正 雄   | 幹事長         |
| 新病院等整備特別委員会 |           |         |             |
| 11          | 委員長       | 西 岡 章 夫 |             |
| 総合交通対策特別委員会 |           |         |             |
| 12          | 委員長       | 二 川 浩 三 |             |
| 総合防災対策特別委員会 |           |         |             |
| 13          | 委員長       | 竹 内 俊 彦 |             |
| 各会派幹事長      |           |         |             |
| 14          | 自由民主党議員会  | 中 村 順 一 |             |
| （再掲）        | 同志会       | 辻 正 雄   |             |
| （再掲）        | 公明党議員会    | 大 山 高 子 |             |
| （再掲）        | 市民フォーラム21 | 大 西 智   |             |

当日の担当者（16 人）

| 会場設営・撤去・誘導班（8 名）<br>会場の準備・撤去・会場内誘導係   |           |         | 備 考 |
|---------------------------------------|-----------|---------|-----|
| 1                                     | 総務消防常任委員会 | 坂 下 且 人 |     |
| 2                                     | 総務消防常任委員会 | 太 田 安由美 |     |
| 3                                     | 教育民生常任委員会 | 中 村 秀 三 |     |
| 4                                     | 教育民生常任委員会 | 富 野 和 憲 |     |
| 5                                     | 経済環境常任委員会 | 植 田 真 紀 |     |
| 6                                     | 経済環境常任委員会 | 杉 本 勝 利 |     |
| 7                                     | 建設水道常任委員会 | 大 見 昌 弘 |     |
| 8                                     | 建設水道常任委員会 | 造 田 正 彦 |     |
| 総務班（4 名）<br>受付係・マイク係                  |           |         |     |
| 1                                     | 総務消防常任委員会 | 田 井 久留美 |     |
| 2                                     | 教育民生常任委員会 | 藤 沢 やよい |     |
| 3                                     | 経済環境常任委員会 | 春 田 敬 司 |     |
| 4                                     | 建設水道常任委員会 | 中 西 俊 介 |     |
| 広報班（4 名）<br>記録係・写真係（議会報告会結果報告書の作成を含む） |           |         |     |
| 1                                     | 総務消防常任委員会 | 森 谷 忠 造 |     |
| 2                                     | 教育民生常任委員会 | 橋 本 浩 之 |     |
| 3                                     | 経済環境常任委員会 | 佐 藤 好 邦 |     |
| 4                                     | 建設水道常任委員会 | 岡 田 まなみ |     |

## 1 はじめに

高松市議会は、平成 27 年 4 月に高松市議会基本条例を施行し、初めてとなる議会報告会を平成 28 年 4 月 24 日（日）に開催しました。

この議会報告会は、議会基本条例の第 15 条に、議会は、議会活動について市民等に対し報告するとともに、政策形成に関する意見交換を行う場「議会報告会」を設け、情報提供及び情報共有に努めなければならないと位置づけされているものです。

今回の議会報告会では、議会運営委員会を初め、各常任委員会の正副委員長、各特別委員会の委員長、及び各会派の幹事長の 14 名の議員で構成する議会報告会プロジェクトチームが中心となり、プロジェクト会議を都合 3 回実施して、当日報告する重要事業の内容や資料作成のほか、役割分担など具体の協議を行いました。

当日は、40 名全議員参加のもと、市民等約 100 名が参加し、まず、去る 4 月 14 日と 16 日に発生した熊本地震で犠牲となった方に対し、哀悼の意を表すために黙祷した後、議長からの挨拶、続いて、議会運営委員長から、これまでの議会改革の取り組み及び 3 月定例会の報告、また、各常任委員会・特別委員会の正副委員長による 3 月定例会及び所管事務調査の報告の後、11 名の参加者から質疑や要望等を受け、閉会となりました。

また、当日参加できない方にも、議会報告会の模様をインターネット動画共有サイト「USTREAM」でライブ配信するとともに、現在、市議会のホームページから録画配信をしています。

初めてとなる議会報告会に参加された方からは、市民と議員の対話は重要で、今後も続けてほしいという御意見や、日曜日の昼間だけでなく、夜間の開催なども検討してほしいなど、今後の議会報告会の開催に当たり、参考とする意見が数多く寄せられました。

また、議会報告会の内容については、もっとわかりやすい言葉でとか、興味ある事業内容の説明を求める意見など、多くいただきました。

今後の議会報告会の開催に当たっては、これらアンケート結果等を踏まえ、議会運営委員会を初め、議会報告会プロジェクトチーム等で検討して、さらに市民に開かれた高松市議会となるよう努めてまいります。



## 2 議会報告会の概要

- (1) 日時 平成 28 年 4 月 24 日（日）  
午前 10 時 30 分～午後 0 時 20 分
- (2) 場所 市役所 13 階大会議室
- (3) 内容
- ① 開会
  - ② 熊本地震の犠牲者等に哀悼の意を表し黙禱
  - ③ 議長挨拶
  - ④ これまでの議会改革の取り組み及び3月定例会の報告  
議会運営委員会
  - ⑤ 各常任委員会・特別委員会からの3月定例会の報告
    - 総務消防常任委員会
      - ・本市の財政状況について
      - ・コミュニティセンター管理運営について
      - ・空き家等対策事業について
      - ・所管事務調査「たかまつ創生総合戦略について」
    - 教育民生常任委員会
      - ・多子世帯保育料等減免事業について
      - ・放課後児童クラブ事業について
      - ・所管事務調査「動物愛護センターの整備について」
    - 経済環境常任委員会
      - ・企業誘致推進費について
      - ・観光客誘致宣伝について
      - ・不法投棄対策事業について
      - ・所管事務調査「地域に根差したスポーツの育成と活用について」
    - 建設水道常任委員会
      - ・香川県水道広域化推進事業について
      - ・住宅建築物耐震改修等事業について
      - ・所管事務調査「請願道路など道路整備におけるルールの見直しについて」
    - 新病院等整備特別委員会
      - ・3月定例会の審査状況について
    - 総合交通対策特別委員会
      - ・3月定例会の審査状況について
    - 総合防災対策特別委員会
      - ・3月定例会の審査状況について
  - ⑥ 質疑応答
  - ⑦ 閉会
- (4) 参加者 市民 76 名、報道 11 名、議員 40 名、事務局 9 名

### 3 議会報告会での質疑応答の要旨及び回答（Q：質問 A：答弁 R：要望）

Q 現在、整備している新病院について、路線バスは運行されるのか。

A 西岡新病院等整備特別委員長 議会としても、当局に対して、新病院が整備される  
仏生山地域の公共交通体系の整備促進について要望している。

《後日、病院局新病院整備課確認》

高松市新病院基本計画において、来院者の利便性向上のため、タクシー乗り場  
やタクシー待機場の設置を考慮するとともに、路線バスの乗り入れについても検  
討することとしている。

Q 現在、定例会中の常任委員会は同時に開催されるため、一つの委員会しか傍聴でき  
ない。せめて、当初予算を審議する3月定例会の委員会だけでも、全ての委員会が傍  
聴できるような日程で委員会を開催してほしい。

A 森川議会運営委員長 平成27年4月に議会基本条例が施行され、現在、議会運営  
委員会において、その詳細な運用について協議を進めている。1日1委員会の開催に  
についても、今後、検討していきたい。

Q 有害鳥獣被害対策事業について、危機感を持って取り組んでいるのか、協議内容を  
教えてほしい。

A 白石経済環境常任委員長 本年度、有害鳥獣被害対策事業を拡充し、予算も増額し  
ているが、事業詳細については、当局に確認した後、改めて、報告会の報告書で回答  
する。

なお、当局は、危機感を持って対応していると議会としては認識している。

《後日、創造都市推進局農林水産課確認》

平成28年度の有害鳥獣被害対策事業費2,560万7千円は、農作物に被害を  
与えるイノシシ・サル・アライグマの捕獲奨励金、イノシシ用捕獲檻導入補助、  
猟友会へのイノシシ捕獲用の箱わな設置業務委託、農家への防護柵助成など、ま  
た、市街地対策としてイノシシの出没が多い地域で行う集中捕獲などへの助成の  
ほか、緊急捕獲に必要な機材の整備費、さらに、27年度から、新制度として、  
県が実施するイノシシやサルの捕獲事業への本市負担に係る経費を措置してい  
る。

R 定例会後に市民に配布される市議会レポートについて、質問と答弁がかみ合ってい  
ない。また、理解しにくい表現になっている。広聴広報課と連携を図り、よりわかり  
やすいレポートにしてほしい。

R 議員の費用弁償について、廃止している市が多くある。これまでの半額ではなく、廃止にすべきだと思う。

Q 私も費用弁償については廃止すべきだと思う。市の財政状況が厳しいのなら、議員としても真剣に考えてほしい。

A 森川議会運営委員長 昨年、9月定例会に費用弁償を廃止する議員提出議案が提出され、議論を重ねた結果、3月定例会開会日に否決し、新たに一律3,000円に減額する委員会提出議案を閉会日に賛成多数で可決した。

今後も、時代の流れ等で変わっていくこともあると思うが、議員としての職責を果たすためにも、議会改革に取り組んでいきたい。

Q 常任委員会の視察について、視察先での協議事項等の資料を見ることはできるのか。

A 大山議会運営副委員長 情報公開請求の手続をすれば、資料を閲覧できる。

Q 九州地方で大地震が発生し、庁舎が使えなくなった自治体があるが、高松市役所は大丈夫か。

A 竹内総合防災対策特別委員長 現在、整備している危機管理センターについては、大規模災害にも耐えられるよう、免震装置を採用している。

A 井上総務消防常任委員長 本庁舎については、詳細を確認した後、回答する。

《後日、財政局財産経営課確認》

現庁舎は、当時、建設大臣認定を受けており、その当時の耐震基準は満たしている。平成8年に、複数の振動波を当てる耐震診断のシミュレーション調査を行ったところ、いずれの振動波にも対応できるとの結果が出ており、その調査した振動波には、阪神淡路大震災クラスの振動波も含まれている。また、その後、大地震に備えるため、耐震補強工事を行っている。

Q アンケート用紙に記載した質問についても、報告書で回答してくれるのか。

A 大山議会運営副委員長 回答する。

後記のアンケート調査結果参照

Q 定例会や委員会は、平日の昼間に開催されるので、傍聴する機会がなかなかないので、市政に関心がある市民が傍聴しやすいように、夜間や休日に会議を開くこと、また、議会報告会は委員会ごとに開催し、詳細な内容の説明や意見交換を要望する。

A 森川議会運営委員長 市民に開かれた議会を目指して、今後、検討していきたい。

R 議会報告会は、6・9・12月の定例会開催の報告で1回、3月定例会開催の報告で1回の計2回を開催してほしい。

Q この会は、市民の代表である議員と市民が対話するものだから、胸襟を開き、個人の意見を含めた対話も可能とされたい。

A 大山議会運営副委員長 今後の議会運営委員会において、運営方法等を検討したい。

Q 東讃地域では、産婦人科がある公立病院が、さぬき市民病院のみであるが、新病院の診療科には産婦人科はできるのか。

A 西岡新病院等整備特別委員長 現在、整備している新病院には、23診療科が予定されており、産科・婦人科も含まれている。

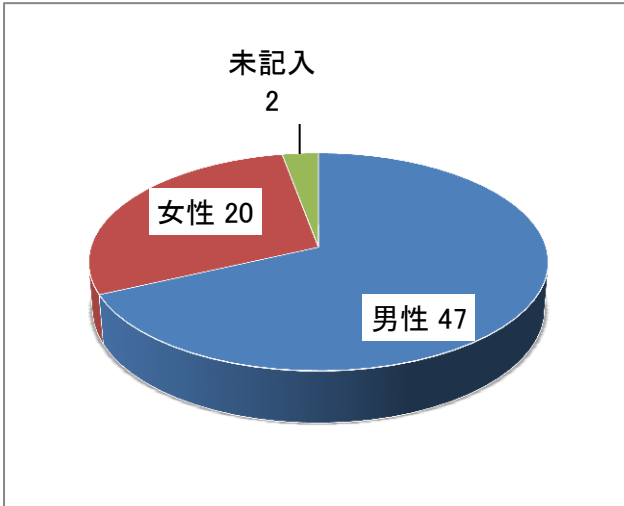


## 4 アンケート調査結果

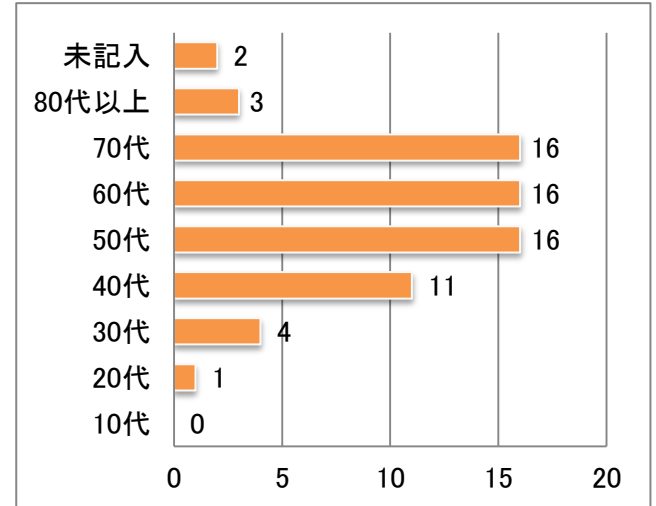
アンケート回収枚数：69枚（参加者76名）

アンケート回収率：72.6%

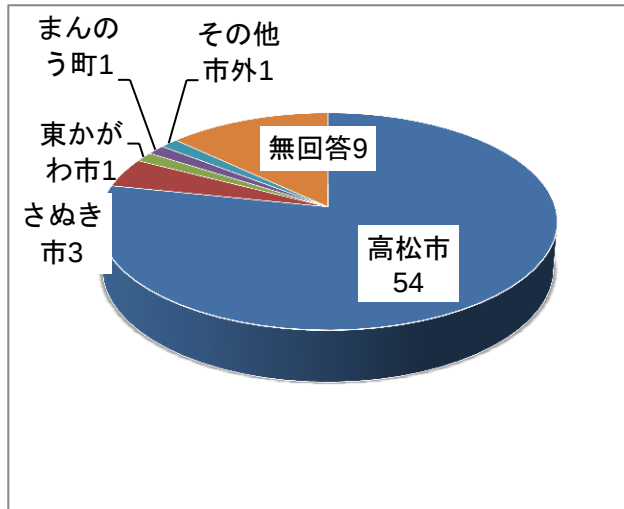
○性別 (人)



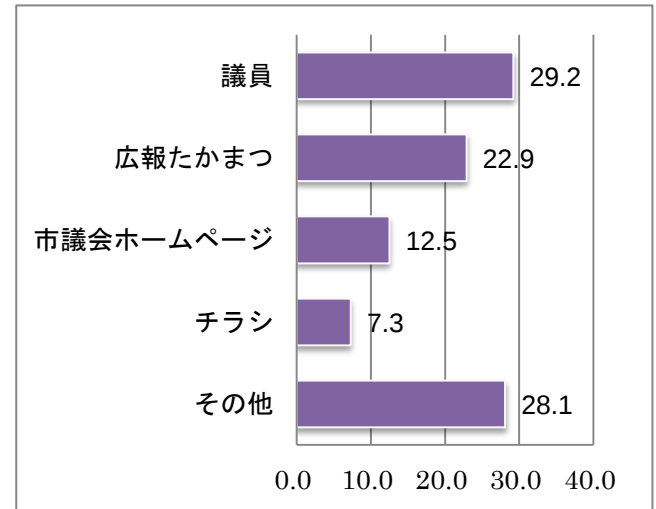
○年齢 (人)



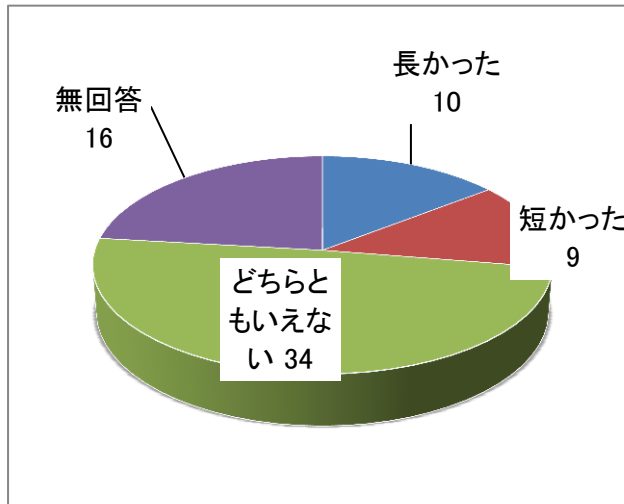
○居住地域 (人)



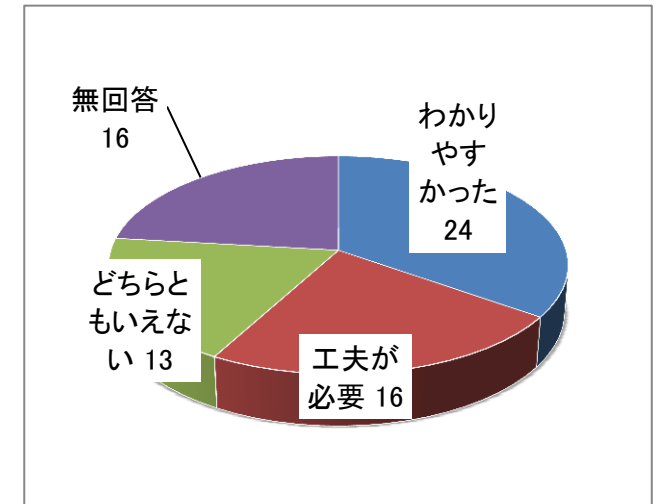
○開催情報入手方法 (%)



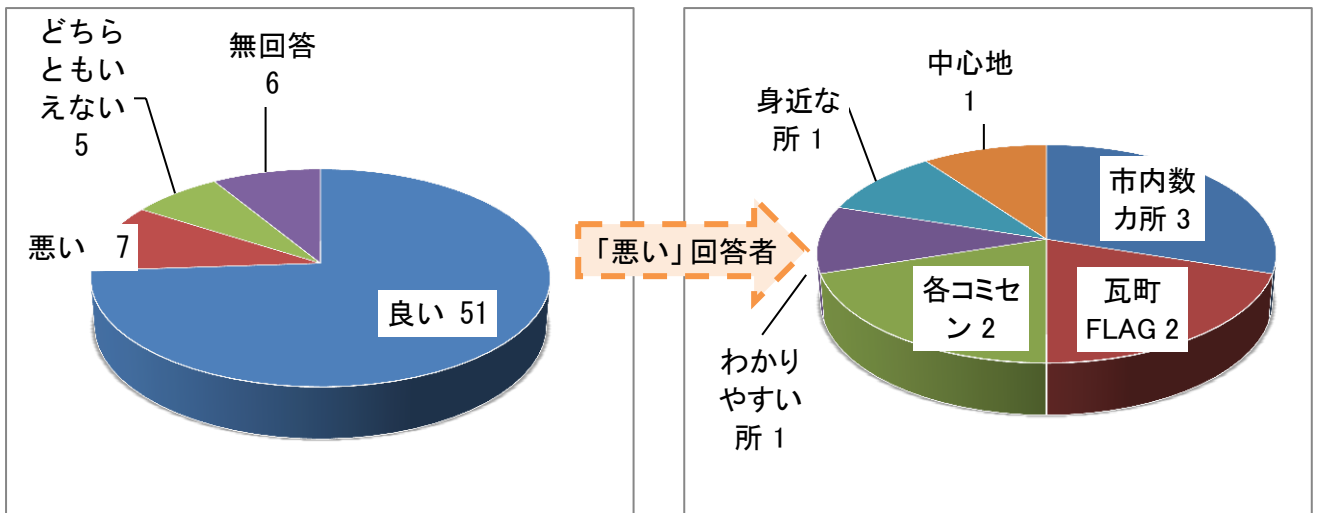
○開催時間の長さ (人)



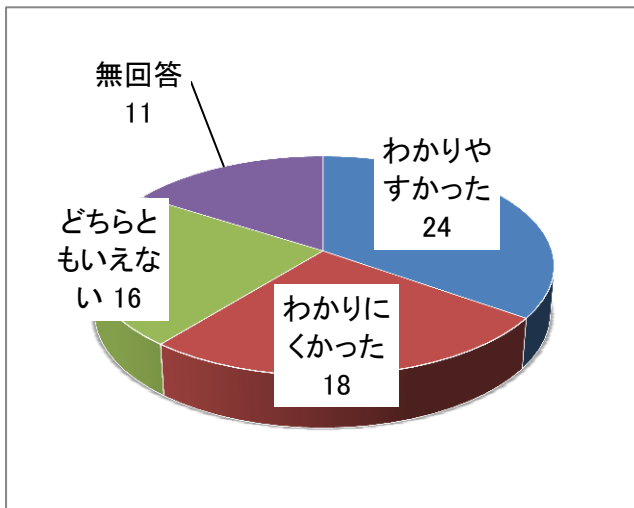
○配布資料 (人)



## ○開催場所



## ○議会報告会の内容 (人)



### 報告会の内容がわかりにくかった理由（集約）

#### (1) 資料等に対する意見

- ・各施策の内容は理解できるが、予算についての説明がないと是非の判断ができない。
- ・報告内容が、抽象的・精神的なものばかりで、苦労している点や何が障害になっているのかなどが伝わらない。
- ・資料等が機能していない。NHK ニュース解説「持論公論」を参考にし、理解しやすい資料となるよう工夫されたい。
- ・報告時間が長く、説明する範囲が広過ぎる。
- ・報告をもっと詳しく説明してほしい。
- ・本会議の委員長報告と同じ内容でわかりやすいが、表現を見直してはどうか。
- ・報告書と資料（カラー版）の掲載をしてほしい。
- ・具体的な資料が少ない。
- ・市民に対してアピール度が高い事業だけピックアップしており、委員会の宣伝のようだ。

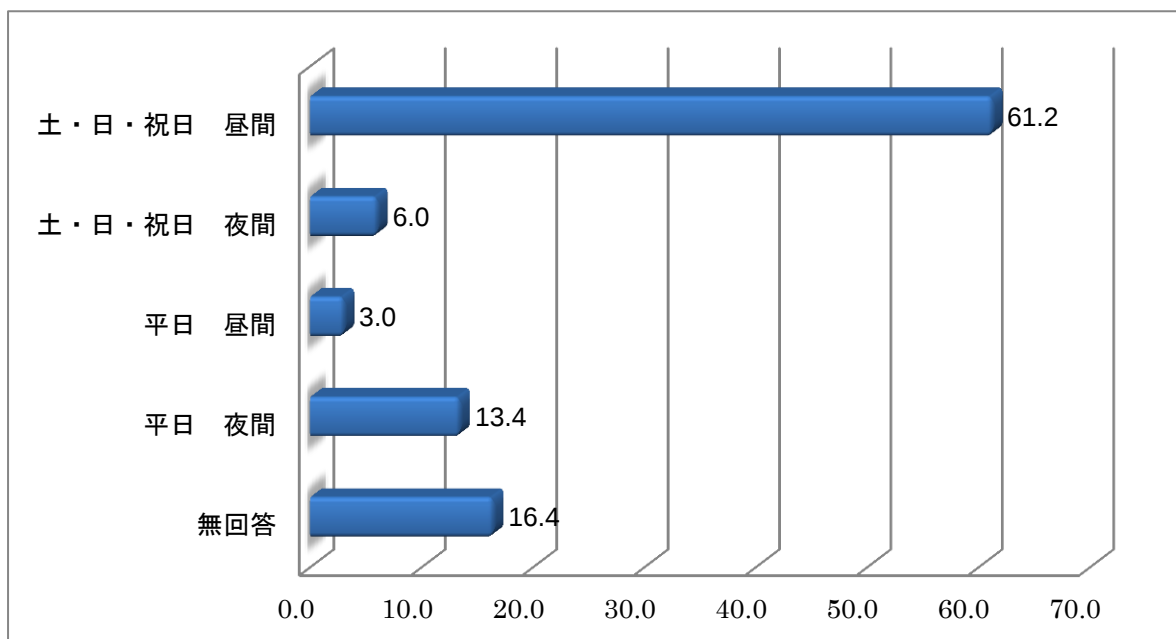
#### (2) 報告者に対する意見

- ・原稿の棒読みで何がポイントかわからない。
- ・報告者の元気がない。

- ・説明が早口で理解しづらい。
- ・報告者の説明が聞き取りにくい。
- ・原稿を早口で棒読みしているので、聞き手の頭に入っていない。
- ・原稿を読んでいる報告者は、中身を理解しているのか。
- ・報告が議会言葉で、棒読みであった。
- ・報告者によっては原稿を読むので精一杯で、内容を理解しているのか疑問。
- ・資料を読むだけなら配付で十分。報告者の言葉で説明してほしい。

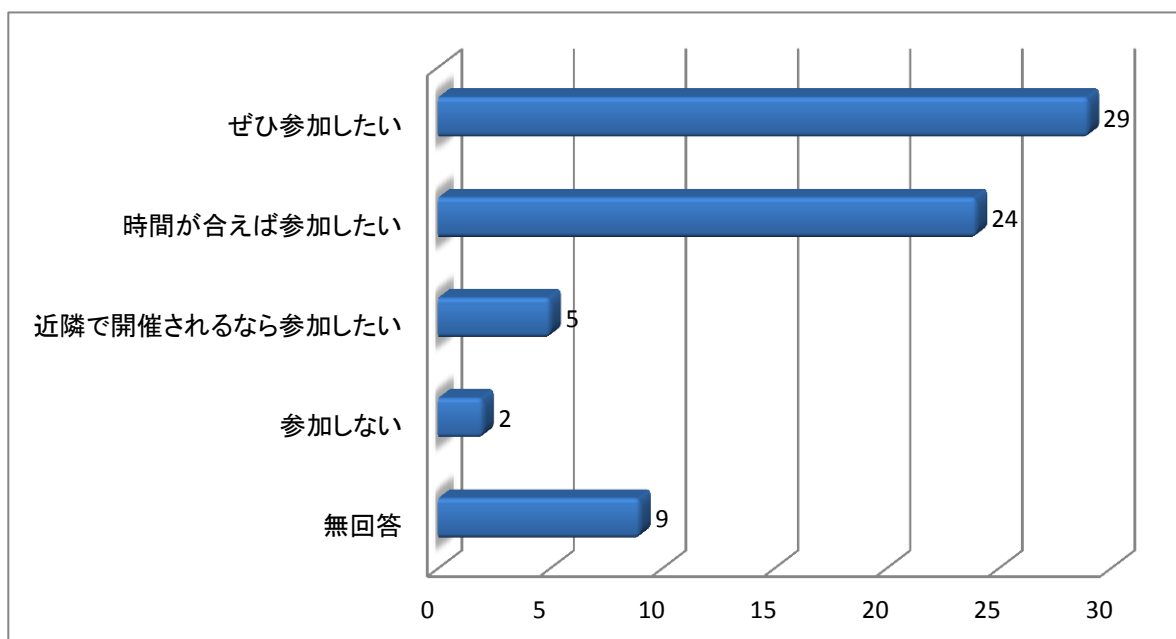
○次回の議会報告会の開催日時

(%)



○今後、議会報告会が開催された場合の参加の有無

(人)



## ○議会報告会の感想や議会に対する意見等（集約）

### (1) 感想

- ・すばらしい企画だ。議会が身近になったような気がする。
- ・地元選出議員の議会報告の内容は、議員自身がかかわった事業が中心だったので、今回、市全体のことを聞け、大変有意義だった。
- ・参考になった。ありがとう。元気で長生きする。
- ・こういう説明会は市民にとって議会の活動がわかり、よい方法である。
- ・議員みずから運営しているところに好感が持てた。
- ・各委員長初め、市議会議員の顔が見れてよかった。
- ・熊本地方の地震被害者に対しての黙禱は、とてもよかった。
- ・職員は初めての議会報告会で、資料作成を初め、さまざまな準備で大変だったと思う。職員は、議員本位ではなく、常に市民本位の立場を守ってほしい。
- ・より市議会が市民に身近なものとして感じられる取り組みであり、よかった。
- ・市民からの厳しい意見もあったが、議員にとっては、それぞれ考える機会にもなったと思う。
- ・議会の活動内容を市民にわかりやすく説明する機会は、非常によいことであり、継続的な開催をお願いしたい。
- ・第1回目としてはよかった。議会の傍聴より、このように問題を絞って取り組みを聞いた方がわかりやすい。
- ・上手に報告していたが、実際の活動・行動は受動的で表面をつくろっている。
- ・議員は、市民の代表で選良であるが、市民と痛みの共有はしていない。

### (2) 意見

#### ① 開催について

- ・定例会ごと等、定期的に複数回開催してほしい。
- ・各地域で開催してほしい。
- ・若者や育児中の女性が参加できるよう託児をしてほしい。
- ・委員会ごとに開催し、より具体的な報告会を開催してほしい。

#### ② 運営について

##### 《会場等》

- ・席を口の字型にしてはどうか。
- ・全議員、正面に座ってほしい。
- ・フランクな感じで開催してほしい。
- ・参加者にも机を用意すべきで、参加者を馬鹿にしている。
- ・参加者にお茶を配る配慮は必要である。議員席にはお茶があり参加者に無礼である。
- ・駐車場の無料措置は終了時間まで無料とすべき。1時間で帰れということか。

##### 《報告内容・時間配分等》

- ・委員長の報告は短くし、質疑応答の時間を長くしてほしい。
- ・報告は資料の補足説明だけでよい。
- ・意見交換を重視すべき。
- ・市議会広報紙をもとに報告してほしい。
- ・身近な問題について意見交換したい。
- ・各委員会の視察について報告してほしい。

- ・事業説明より、審議する中での議論や要望等の中身を報告すべき。
- ・資料と同じ報告なら無駄な時間となる。
- ・事業報告は簡潔にし、議会が何を要望し、当局がどう答弁し、その結果を説明すべきである。
- ・今回の時間配分では意見交換とは言いがたい。
- ・報告だけで1時間30分。説明が長い。
- ・説明は歯切れよくやってほしい。内容がわかりづらい。
- ・「担当課へ問い合わせしてほしい」は、説明責任の放棄。

#### 《資料等》

- ・説明と資料が合っていない。
- ・委員会のページごとにメモ欄をつくるとよい。
- ・資料が多い。
- ・写真や動画で説明してほしい。
- ・説明部分を資料に載せてほしい。

#### ③ 議会について

- ・議員の費用弁償は廃止すべき。
- ・県外及び海外の視察を見直すべき。
- ・議会改革に本気で取り組んでもらいたい。
- ・海外行政視察の報告がなかった。税金で視察に行ったのなら説明すべき。
- ・本日の報告会を開催しただけで満足せず、工夫・改善して報告会の有効性を高めてほしい。

#### (3) 全体的な意見

- ・アンケートをまとめて公表してほしい。
- ・全議員の声が聞きたかった。
- ・飲み物の持ち込み OK を事前に周知してほしい。
- ・議員本人が原稿をつくったようには思えない。
- ・議会報告会なので、議員が汗をかき、自分の言葉で説明すべき。
- ・報告者は資料を読む場面が多かったのは、間違わないために慎重であったのか、内容把握が不十分であったのか。
- ・議会の取り組みに対しての意見・質問をどこへ言えばいいかを周知してほしい。
- ・報告だけではなく、市民からの声を聞くと広報してはどうか。
- ・障害者施策の説明がなかった。
- ・高齢者にはホームページの閲覧は困難である。
- ・資料の「注意事項」の最後の事項は市民を上から目線で見ている。

#### (4) 市政等の要望

- ・市内のバス路線（時間・便数など）をもっと充実。
- ・こども未来館の充実。
- ・「たかまつ創生総合戦略について」のうち、女性が活躍できる環境づくりのために、女性の生の声を聞いてほしい。
- ・危機管理センターのような重厚長大なものは不要。防災機能を果たせない。
- ・コミュニティ事業は上滑り。
- ・動物愛護事業が過度になりつつある。

- ・職員の不名誉な事件等がない市政をお願いしたい。
- ・職員の旅費支給を見直すこと。
- ・道路の維持管理に力を入れてほしい。
- ・小学校高学年のスポーツ人口の増加や指導を育成して、全国にアピールしてほしい。
- ・熊本の小中高をスポーツ、医療ケアなどで支援すべき。

(5) 質問・回答

- ① 費用弁償とは地方自治法第 203 条 2 項に基づいて支給していると思うが、議員が 1 回当たり 3,000 円になった、その根拠は何か。
- ② 費用弁償（旅費）がなぜ必要なのか。もし旅費として別途支給するのなら実費でよい。3,000 円の根拠は何か。

《回答》

最高裁の判例などから、費用弁償は交通費及び諸雑費であるとされており、現在、費用弁償を距離及び定額支給している中核市の平均支給額から、公用車使用の有無に関係なく一律 3,000 円とした。

- ③ なぜ、自由民主党議員会の議員だけが前にいるのか。

《回答》

議会運営委員会及び 4 常任委員会の正副委員長、3 特別委員会の委員長、及び 4 交渉会派の幹事長の 14 名からなる「議会報告会プロジェクトチーム」が中心となって運営に当たったが、このメンバーの中で、自民党議員会を除く 3 会派の幹事長は委員会の副委員長を兼ねていたことから、このような結果となった。（資料 1 ページ参照）

- ④ 海外行政視察は議員 7 人も行く必要があるのか。議会改革のためにも再考されたい。

《回答》

海外行政視察の人員等については、改選期初めに各会派間で協議している。今後、御意見を踏まえ検討したい。

- ⑤ 全議員が参加していたが、その理由は何か。

《回答》

今回、初めてとなる議会報告会の開催に向けて、これまで議会運営委員会等で協議をした結果、高松市議会として実施することから、議長初め全議員が参加することとした。

